

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[生成するは Web インターフェイスでファイルを解決します](#)

[ダウンロードはファイルを解決します](#)

[代替世代別メソッド](#)

[生成するは CLI でファイルを解決します](#)

[防御センターおよび Series-2 デバイス](#)

[FirePOWER および仮想デバイス](#)

[コピーはファイルを解決します](#)

[防御センターおよび Series-2 デバイス](#)

[FirePOWER および仮想デバイス](#)

概要

この資料に Sourcefire/FirePOWER アプライアンスでトラブルシューティング ファイルを生成する方法を記述されています。トラブルシューティング ファイルはログメッセージ、コンフィギュレーションデータおよびコマンド 出力の収集が含まれています。Sourcefire/FirePOWER システムのステータスを判別することを使用します。Sourcefire/FirePOWER アプライアンスからのトラブルシューティング ファイルを送信するように Cisco サポート エンジニアが要求すれば、この資料で提供される手順を使用できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 防御センター/FireSIGHT のような Sourcefire 管理 アプライアンス、/FirePOWER 管理センター (FMC)
- FirePOWER デバイス モデル (Series-3)、3D デバイス モデル (Series-2)、およびボックス 管理からのが付いている仮想デバイス/ASA FirePOWER モジュールのような Sourcefire 管理対象装置。

注: 管理 アプライアンス自体を、または管理対象装置のためのトラブルシューティング ファイル生成するために防御センターか管理センターを使用できます。FirePOWER デバイス (Series-3) モデルは 7000 シリーズ、7100 シリーズおよび 8000 シリーズ 管理対象装置が含まれています。Series-2 管理対象装置モデルは FirePOWER サービスを用いる 3D500、3D1000、3D2000、3D2100、3D2500、3D3500、3D4500、3D6500、3D9900 および ASA が含まれています。

使用するコンポーネント







このこの文書に記載されている情報はソフトウェア バージョン 5.0 またはそれ以降を実行する Sourcefire /FirePOWER アプライアンスに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

生成するは Web インターフェイスでファイルを解決します

生成するためにこれらのステップを解決しますファイルを完了して下さい:

- バージョン 5.x.x では、**健康 > 管理** アプライアンス Web インターフェイスのヘルス モニタにヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。
バージョン 6.x.x では、**システム > 健康 > 管理** アプライアンス Web インターフェイスのモニタにヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。
- アプライアンスを拡張するために特定のステータスのアプライアンスを、クリックします行の端に矢印をリストし、表示して下さい:

	Status	Count	
	Error	0	
	Critical	1	▼
	Warning	0	
	Recovered	0	
	Normal	1	▶
	Disabled	1	▶

ヒント: ステータス水準点のための行の端に矢印がより低い表に、そのステータスのためのアプライアンス リスト現われれば。矢印が権限を指す場合、アプライアンス リストは非表示です。

- アプライアンス リストのアプライアンス カラムでは、詳細を表示したいと思うアプライアンスの名前をクリックして下さい。ヘルス モニタ アプライアンス ページは提示されます。
- トラブルシューティング ファイル**を『Generate』 をクリックして下さい。トラブルシューティング オプション ポップアップ ウィンドウは現われます。
- 可能性のあるトラブルシューティング データすべてのレポートを生成するためにすべての **Data** チェックボックスをチェックするかまたはレポートをカスタマイズするために個々のチェックボックスをチェックして下さい:

Troubleshooting Options

Please select the data to include:

- All Data
 - Snort Performance and Configuration
 - Hardware Performance and Logs
 - System Configuration, Policy, and Logs
 - Detection Configuration, Policy, and Logs
 - Interface and Network Related Data
 - Discovery, Awareness, VDB Data, and Logs
 - Upgrade Data and Logs
 - All Database Data
 - All Log Data
 - Network Map Information

Note: This may take several minutes.

6. 『Generate』 をクリック すれば **管理センターはトラブルシューティング ファイルを生成** します。

ヒント : バージョン 5.x.x では、タスク待ち行列のファイル生成プロセスを、ナビゲート システム > モニタリング > タスク ステータスに監視するため。バージョン 6.x.x では、タスク ステータスのファイル生成プロセスを、ナビゲート **メッセージ センター アイコン** (導入 とシステム間のオプション) に監視するため > タスク。

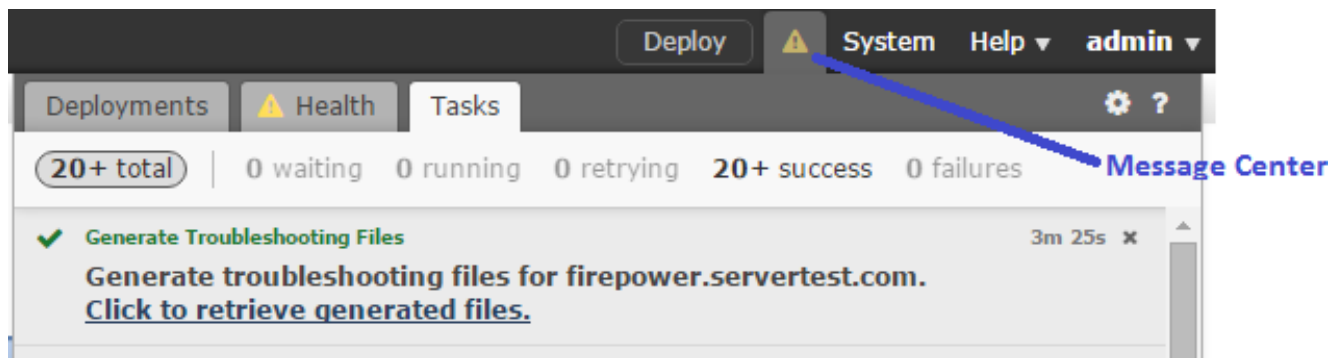
ダウンロードはファイルを解決します

生成されるのコピーをダウンロードするためにこれらのステップを解決しますファイルを完了して下さい:

- バージョン 5.x.x では、システム > モニタリング > 管理 アプライアンス Webインターフェイスの**タスク ステータス**に Status ページ タスクに達するためにナビゲートして下さい。バージョン 6.x.x では、> 管理 アプライアンス Webインターフェイスの**タスクはメッセージ センター アイコン** (導入 とシステム間のオプション) に Status ページ タスクに達するためにナビゲート します。
- 生成した**トラブルシューティング ファイル**に対応する**アプライアンスが完了される**に**トラブルシューティング ファイル**および**タスク ステータス 変更**を生成した後、**タスク**を見つけて下さい。
- 生成されるファイル** **リンク**を取得し、**ファイル**をダウンロードするために**ブラウザ** **プロンプト**に従うように**クリック**をクリックして下さい。


バー

ジョン
6.x.x



バージョン 5.x.x

Jobs

Task Description	Message
 Generate troubleshooting files jobs for 0 Running 0 Waiting 1 Completed 0 Retrying 0 Failed	
Generate troubleshooting files for	Click to retrieve generated files.
Generate Troubleshooting Files	

4. 注: ファイルは .tar.gz 単一 ファイルのデスクトップにダウンロードされます。

代替世代別メソッド

前のセクションに説明があり、管理 アプライアンス Webインターフェイスにアクセスすることができないまたは管理 アプライアンスと管理対象装置間に接続上の問題があれば世代別方式を使用するように試みれば、トラブルシューティング ファイルを生成できなければ。この場合、トラブルシューティング ファイルを生成するためにアプライアンスの CLI を使用できます。

生成するは CLI でファイルを解決します

防御センターおよび Series-2 デバイス

トラブルシューティング ファイルを生成するために防御センター、管理センターおよび Series-2 管理対象装置でこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@3DSystem:~$ sudo sf_troubleshoot.pl Starting
/usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl...Please, be patient. This may take several minutes.
Troubleshooting information successfully created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

FirePOWER および仮想デバイス

トラブルシューティング ファイルを生成するために FirePOWER デバイス/モジュールおよび管理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system generate-troubleshoot all
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl...Please, be patient. This may take several
minutes.The troubleshoot option code specified is ALL.Troubleshooting information successfully
created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

コピーはファイルを解決します

防御センターおよび Series-2 デバイス

トラブルシューティング ファイルをコピーするために防御センター、管理センターおよび Series-2 管理対象装置でこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@3DSystem:~$ sudo scp troubleshoot_file_name username@destination_host:  
destination_folder
```

FirePOWER および仮想デバイス

トラブルシューティング ファイルをコピーするために FirePOWER デバイスおよび管理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system file secure-copy hostname username destination_folder troubleshoot_file
```

注: この例では、**ホスト名**はターゲット リモートホストの名前か IP アドレスを示します、**ユーザ名**はリモートホストのユーザの名前を規定します、**destination_folder** はリモートホストの宛先パスを規定し、**troubleshoot_file** ローカルを解決します転送のためのファイルを規定します。